

# かながわ京浜臨海部ニュース

平成26年4月号

## 今号のINDEX

- ・ 京浜スマートコンビナートの構築に向けて、今年度も取り組みます ..... p 1
- ・ 「川崎国際環境技術展2014」が開催されました ..... p 2
- ・ 「成長分野育成ビジョン～横浜経済の発展に向けたグロウアップ戦略～」を策定しました... p 3
- ・ 「京浜臨海部再編整備協議会」のホームページがリニューアル！ ..... p 4

## 京浜スマートコンビナートの構築に向けて、今年度も取り組みます

京浜臨海部に立地する企業、行政、関係団体で構成する「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」（事務局：神奈川県、川崎市。以下、「検討会議」）では、「京浜スマートコンビナートの構築」を目標像として掲げ、立地企業に共通する課題について様々な検討を行っています。今年度も引き続き、生産活動の効率化や資源・エネルギーの有効活用に繋がる企業間連携の取組の実現を目指し、活動を進めていきます。

### 新座長のご紹介～東燃ゼネラル石油㈱ 執行役員 川崎工場長 藤井文人さん～

昨年12月から検討会議の座長に就任された、東燃ゼネラル石油㈱ 川崎工場の藤井工場長にお話を伺いました。

川崎工場に赴任されて半年が経ちましたが、京浜臨海部コンビナートについてどのような感想をお持ちですか。

「こちらへ来て驚いたのは、県や市など、行政との距離がとても近いなということです。検討会議をはじめ、企業と行政が顔を合わせる場面も多く、存在を身近に感じています。

一方で、立地企業間には、まだ少し距離があるような印象です。以前いた千葉の京葉コンビナートでは、工場長や事業所長が定期的集まって、お互いに顔の見える関係ができていました」

検討会議で目指している企業間連携の取組を実現させるためにも、企業同士の距離感は重要なポイントです。

「企業間連携をしようにも、普段のコミュニケーションが取れていないと、そもそも他社が今どういう状況にあるのかが分かりません。それでは、新たな連携の芽も生まれません。京浜臨海部コンビナートでは、担当者同士や実務者同士が顔を合わせる機会は多くあるようなので、全体が見えて執行責任を持った工場長や事業所長同士でも、定期的に顔を合わせる機会が持てればと思います。せっかく検討会議のような場があるので、これを一つのきっかけにして、普段からコミュニケーションを取れる関係を築いていきたいですね。こうした日頃のコミュニケーションが検討会議での取組をより有効なものにすると思いますし、災害対応など非常時においても生きてくるのではないのでしょうか」

検討会議座長のリーダーシップも期待されます。

「当工場の特徴として、石油精製と石油化学が一体化している点が挙げられます。これは、事業面において大きな強みであることはもちろんですが、幅広い分野の企業との付き合いがあるという



ことでもあり、周辺企業とのコミュニケーションという面においても強みだと感じています。こうした点を活かして、立地企業同士の距離を縮めることに貢献できればと思っています」

神奈川県での生活はいかがですか？

「現在川崎市に住んでいますが、平らな土地が多く、とても住みやすいなと感じています。人口減少が進む自治体が多い中、川崎市では人口が増えていると伺っていますが、川崎駅周辺の賑わいぶりなどを見ていると、発展する街の勢いが肌で感じられます。時間ができたら、少し足を伸ばして鎌倉など県内の観光地も訪れてみたいですね」

最後に、検討会議座長としての抱負をお願いします。

「京浜臨海部コンビナートは、もともとのポテンシャルが高いエリアです。検討会議の場なども活用して様々な取組を検討し、強みをより伸ばし、全国のコンビナートのモデルとなるような地域を目指していければと思います」

## リーフレットを更新しました！



このたび、「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」のリーフレットを更新しました。

このリーフレットは、検討会議の目標像である「京浜スマートコンビナートの構築」に向けて、検討会議メンバー間や企業内（工場、本社等）における目標像の共有、財政支援獲得等に向けたアピール、県民・企業の皆様への情報発信を狙いとして作成しているものです。

今回の更新では、「京浜スマートコンビナートの構築に向けた今後の取組」として、メンバー間で検討した「京浜スマートコンビナートのすがた（将来像）」を掲げています。具体的には、**実現をめざす象徴的な取組**（石油精製・石油化学における統合型運営の徹底、ユーティリティの共有化など）と、**今後も担い続ける拠点機能の強化**（素材供給拠点機能、エネルギー供給拠点機能）の2点を打ち出しており、この両方を実現できるコンビナートを目指して取り組んでまいります。

リーフレットは、県地域政策課で配架しているほか、以下のホームページからもダウンロードできます。ぜひご覧ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f12100/>（神奈川県ホームページ）

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 電話：(045)210-3255

## 「川崎国際環境技術展 2014」が開催されました

平成 26 年 2 月 14 日（金）に、今年で 6 回目を迎える「川崎国際環境技術展 2014」が、川崎市中原区のとどろきアリーナで開催されました。あいにくの大雪の中での開催で、予定されていた 2 日目の 2 月 15 日（土）は残念ながら開催中止となりましたが、そうした中でも、川崎市内の企業など 157 団体（237 ブース）の出展と、約 4,500 人





の来場がありました。また、海外からは、中国、韓国、ベトナム、オーストラリア、タイ、アメリカ、ドイツ、イタリア、サウジアラビアほか、駐日大使館を含め、14カ国・地域から170人の参加があり、国際色豊かな展示会となりました。

この技術展は、川崎市で培われている最先端の環境技術やノウハウを広く国内外に情報発信するとともに、環境ニーズを携えた海外政府・企業関係者との国際的なビジネスマッチングの場を提供することで、環境技術の移転による国際貢献や産業活性化の好循環を実現するために、平成21年から継続的に開催されています。



「低CO2川崎ブランド'13」認定結果発表・授与式の模様

京浜臨海部の立地企業14社等で構成される「京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議」も昨年に引き続き出展し、企業間連携を通じた生産活動の効率化や省エネルギーの取組が紹介されました。雪の降る中、多くの方がブースを訪れていました。

また、検討会議のメンバーである「旭化成ケミカルズ(株)」、「JFEスチール(株)」及び「日本冶金工業(株)」の製品が「低CO2川崎ブランド'13」に認定され、川崎市長から認定証が授与されました。

問い合わせ先 / 川崎市経済労働局国際経済推進室 電話：(044)200-2335

## 「成長分野育成ビジョン～横浜経済の発展に向けたグロウアップ戦略～」を策定しました

横浜市では、豊かな市民生活を支える横浜経済の持続的発展に向けて、概ね10年間(2025年頃まで)を見据え、今後、成長が見込まれる分野を育成するための取組の方向性などを示すため、「成長分野育成ビジョン」を平成26年3月に策定しました。

このビジョンでは、成長・発展分野の強化戦略として、「環境・エネルギー」、「健康・医療」、「観光・MICE」の3分野を、「特に力を入れる3つの柱」に位置付けています。

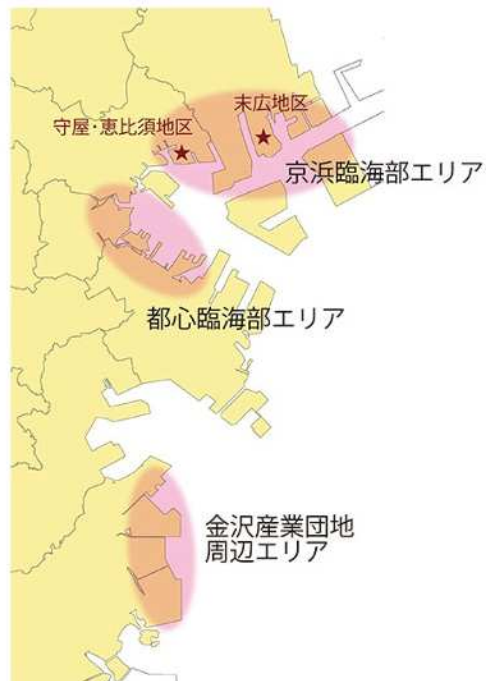
また、「京浜臨海部エリア」、「都心臨海部エリア」、「金沢産業団地周辺エリア」の3つのエリアを産業拠点として位置付け、各エリアの特徴をいかした戦略を掲げています。「京浜臨海部エリア」の戦略は次ページ記載のとおりです。

横浜市では、本ビジョンを企業・市民・経済団体等と共有し、具体的な取組については、今後、新たな中期計画の策定や予算編成の中で精査し、取り組んでいきます。

ビジョンの詳細は、下記ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/vision/>  
(横浜市ホームページ)

### 産業拠点戦略



## 京浜臨海部エリア

### (1) 研究開発拠点としての機能強化

- 未広地区
  - 特区制度を活用したライフイノベーション関連の企業・研究機能の更なる集積
  - 最先端技術・製品・サービスの開発促進
- 守屋・恵比須地区
  - 研究機能への転換による新たな研究開発拠点の形成

### (2) 環境・エネルギー分野の拠点の形成

- 立地企業によるエネルギー関連の研究開発・設備投資を促し、新技術開発や実用化に向けた実証実験を促進

問い合わせ先 / 横浜市経済局政策調整部経済企画課 電話：(045)671-2566

## 「京浜臨海部再編整備協議会」のホームページがリニューアル!

神奈川県、横浜市、川崎市では、京浜臨海部の活性化を図ることを目的に「京浜臨海部再編整備協議会」を組織し、共通の課題について協議・検討するなど、3団体協調による活動を行っています。その一環として、協議会のホームページを運営しておりますが、このたび、新たなコンテンツを追加するなど、ホームページをリニューアルしました。



京浜臨海部で展開されている施策が一览できます

### リニューアル1：3団体の取組の現状を地図上に表現!

県・横浜市・川崎市が共同で、またはそれぞれに京浜臨海部エリアで取り組んでいる施策を、「産業」「土地利用・都市基盤整備」「環境・防災・市民との共生」の3つの分野に分けて地図上に表現しました。

### リニューアル2：「工場立地図」を掲載!

協議会で作成している「横浜・川崎 臨海部工場立地図」をホームページ上でもご覧いただけるようになりました! なお、工場立地図は県庁及び川崎市役所で販売もしております(1部400円)。こちらもぜひご利用ください。

### リニューアル3：過去の貴重な映像を公開!

昔、映画館で流れていたニュース映画の中から、昭和30年代の埋立て事業の様子や神奈川臨海鉄道の開通など、京浜臨海部に関するものをピックアップして公開しました。

そのほかにも、協議会で実施した京浜臨海部に関する調査報告書の掲載や、各種統計データの更新などを行いました。リニューアルしたホームページを、ぜひご訪問ください!

【京浜臨海部再編整備協議会ホームページ】

<http://www.keihin.ne.jp/>



浮島の埋立て時の映像もご覧いただけます

問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 電話：(045)210-3255

### 編集・発行

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0602/>

(お問い合わせは、こちらのホームページ下部の「お問い合わせフォーム」からお願いします。)